

子育て支援の充実

《これまでの取組み》

【目的】

- ・ 子育て層の交流
 - ・ 児童虐待の早期発見と防止
 - ・ 待機児童の解消 など
- 状況に応じた適切な支援、相談、情報提供等、子育て支援に取り組む。

【取組み実績】

- ・ 「愛 Love こどもフェスタ」の開催（平成 17 年度～）
- ・ 「つるみっ子ルーム」の利用促進（平成 23 年度～）
- ・ 地域団体等と連携した、年間を通じた児童虐待防止啓発活動の実施
- ・ 鶴見区幼稚園・保育所等情報フェアの開催（平成 29 年度 NEW）



愛 Love こどもフェスタ



鶴見区幼稚園・保育所等情報フェア

《現状・課題》

- ・ 子育て層の交流の場としてのつるみっ子ルームは利用者数が増加している。
- ・ 児童虐待の相談件数は微増で推移している。
- ・ 市長の公約である待機児童ゼロをめざした取組みが必要である。
- ・ 情報フェア（9月2日実施）へは約 500 世帯の来場があり、非常にニーズが高いと思われるが、開催場所・時間等については工夫の余地がある。
- ・ 子どもの貧困の連鎖を断ち切るための取組みを進める必要がある。



《平成 30 年度の取組みの方向性》

- ・ 子育て層の支援のため、交流の場や情報交換の場のさらなる充実
- ・ 児童虐待防止啓発活動の継続
- ・ 待機児童解消に向けた取組みを継続
 - 保育環境の充実に向けた保育施設への働きかけ
 - 鶴見区幼稚園・保育所等情報フェアの充実
- ・ 子どもの貧困対策として、相談支援及び子どもの学習支援事業の実施

教育支援の充実

《これまでの取組み》

【目的】

さまざまな機会を通じて学校ニーズを把握し、児童生徒のスムーズな学校生活と学力の向上を図る。

【取組み実績】

- ・教育行政連絡会の開催（学校長と区役所による連絡調整、協議の場） 小中学校 各3回（平成26年度～）
- ・学校協議会への参加 市立幼稚園、小・中・高校（20校園）にて各3回（平成26年度～）
- ・校長会・教頭会への参画 毎月1回（平成28年度～）
- ・校長経営戦略支援予算を活用した小・中学校の支援（平成28年度～）
- ・発達障がいサポーターを活用した小・中学校の支援（平成25年度～）
- ・民間事業者を活用した課外学習支援事業【個別指導つるみ塾】（平成29年10月～ NEW）



漢字能力判定に向けた取組み支援事業



教育活動サポート事業
（課外活動時のサポート）

《現状・課題》

- ・学校との連携が図られ、学校の要望に応じた支援（発達障がいサポーターの稼働時間を2,076時間3,922時間に増加、英語学習支援や教育サポーターの配置など）が行えてきている。
- ・学校、地域、家庭とさらに連携し、学習への興味や学力向上に向けた取組みが必要である。



《平成30年度の取組みの方向性》

- ・校長経営戦略支援予算を活用した小・中学校の支援【継続】
教育活動サポーターや英語講師の配置、英語教材やデジタル教科書の購入、漢字能力判定に向けた取組み支援事業等を実施。
- ・発達障がいサポーターを活用した小・中学校の支援（H29年度拡充）【継続】
- ・民間事業者を活用した課外学習支援（塾）事業【継続】
- ・生涯学習と連携した家庭教育に関する取組み【新規】NEW

学校と社会を結ぶ

《これまでの取組み》

【目的】

企業やスポーツ選手等のもつ専門知識や貴重な経験などを区内の小・中学生に伝え、次世代を担う子どもや青少年の、将来への夢を膨らませる。

【取組み実績】

- ・ 青少年「夢・未来」講座の開催（平成 26 年度～）
H29 年 9 月現在 9 校 101 件



「ミズノ」走り方教室



「汎愛高校」ダンス教室

《現状・課題》

- ・ 「夢・未来創造事業」を通じて、興味・関心が高まったと回答した児童の割合 96.0%（H28 年度アンケート）と、児童の満足度及び学校ニーズが高い。
- ・ 企業等が出前授業を実施できる回数に限りがある。



《平成 30 年度取組みの方向性》

- ・ 青少年「夢・未来」講座の開催
学校からの要望に対応できるよう協力企業やメニューを増やし実施【拡充】

青少年育成の取組み

《これまでの取組み》

【目的】

歌やダンス、吹奏楽等の活動をしている区内の中学生・高校生や青少年グループに、日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに、学校、地域、保護者と連携して青少年の健全育成を図る。

【取組み実績】

- ・高校軽音ライブクリーンプロジェクト（平成 24 年～）
会場数を増やして実施（3 会場 4 会場）（18 校 36 組
24 校 48 組の参加）
- ・青少年カーニバル（平成 25 年～）
つるみワールドフェスタと同日開催（10 月 9 日開催）により相互のイベントの集客力アップを図る。
- ・青少年健全育成鶴見区民大会（平成 10 年～）
2 部を中学校吹奏楽部の活動発表の場として開催



高校軽音ライブクリーンプロジェクト



青少年カーニバル

《現状・課題》

【高校軽音ライブクリーンプロジェクト】

- ・会場や参加校を増やして実施。鶴見緑地公園の清掃活動が評価され広がりを見せている。

【青少年カーニバル】

- ・午前：メチャハピー祭の鶴見緑地会場として大阪府下のダンスチームが参加。午後：区内で活動する歌やダンスチームによる演奏、演舞などを行っているが、毎年、同じような参加チームとなってきている。

【青少年健全育成鶴見区民大会】

- ・学校・地域・各種団体の委員等、関係者への意識啓発及び青少年健全育成に関するタイムリーな講演、青少年の活動発表の場の提供により来場者への効果的な啓発活動が行えている。



《平成 30 年度の取組みの方向性》

【活動発表の場の提供】

- ・高校軽音ライブクリーンプロジェクト
会場や清掃場所を増やす等、検討のうえ実施【継続】

・青少年カーニバル

セミプロのゲスト出演や他のイベントとの連携等、H29 年度実施を検証のうえ実施【継続】

【青少年健全育成】

- ・青少年健全育成鶴見区民大会【継続】